

令和8年度 日本セルフセンター 農産・食品加工部会 研修会 ～農福連携のその先を見に行こう～

■趣 旨

近年、農福連携は農業分野にとどまらず、食品加工、観光、地域づくり、企業連携など、多様な広がりを見せています。一方で、利用者の工賃向上や働きがいの創出、事業の持続可能性の確保など、多くの事業所が共通する課題を抱えています。

本研修会では、千葉県内において先進的な取り組みを実践する事業所や企業を訪問し、農業・林業・食品加工・ワインづくり・レストラン運営など、多様な農福現場を体感します。

また、農福連携を単なる生産活動としてではなく、「地域価値の創造」「ブランド化」「企業連携」「地域共生社会の実現」という視点から捉え直し、これからの農産・食品加工部門の可能性を参加者の皆様とともに考えます。

現場で培われた知見や工夫を共有し、参加者同士の交流を通じて新たな連携や事業展開のヒントを得る機会として開催いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■主 催 認定特定非営利活動法人日本セルフセンター

■日 程 令和8年8月25日(火)～8月26日(水)

■募集人員 30名(定員になり次第締め切ります)

■1日目研修会場

①社会福祉法人福祉楽団

栗源協働支援センター、栗源第一薪炭供給所、恋する豚研究所

千葉県香取市沢 2459 番 1 TEL0478-70-5234

<https://gakudan.org/service/>

②社会福祉法人光明会

明朗塾、ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ

千葉県八街市八街に 20 番地 TEL043-442-0101

<https://www.meiroh.com/>

■情報交換会会場(希望者のみ)

buffet garden veggie+

千葉県成田市花崎町 798-10 センターホテル成田2R51 1階

<https://www.c-hotel.jp/r51/breakfast/>

■2日目研修会会場

①帝人ソレイユ株式会社

我孫子事業所・ポレポレファーム TEL04-7199-9591

千葉県我孫子市布佐 902-1

<https://teijin-soleil.co.jp/about/base.html>

②社会福祉法人フラット FLAT VILLAGE フラットヴィレッジ

千葉県白井市根 460-1 TEL047-401-2123

<https://flatvillage.flat.or.jp/>

- 参加費 ①日本セルプセンター会員 10,000円/人
 ②日本セルプセンター非会員 13,000円/人
 (申し込みと同時に入会した場合は会員価格とします)

*①②ともに、25日・26日の昼食代を含んでいます

- ③情報交換会費 8,000円(希望者のみ)

■スケジュール

【令和8月25日(火)】

時間	行程
12:30	JR成田駅・西口集合
～ 移動(30分)～	
13:00～15:20	恋する豚研究所(豚しゃぶ) 昼食と視察 栗源協働支援センター・栗源第一薪炭供給所(さつま芋栽培や林業等)の視察 ※会場:(社福)福祉楽団 栗源協働支援センター、栗源第一薪炭供給所
～ 移動 (40分)～	
16:00～17:20	障害者支援施設明朗塾 ・ブドウ畑等の視察(枝豆、巨峰・ナガノパープル・シャインマスカット、ワイン・ワイン用ブドウから作ったジュースの試飲) ・ドローン農薬散布のデモンストレーション及びドローン操縦体験 (協力:WIB JAPAN 株式会社) ・ウエルネス倶楽部・明朗カレッジの視察
～ 移動 (40分)～	
18:00	JR成田駅周辺、及びセンターホテル成田2R51で解散
18:30～21:30	情報交換会(希望者のみ) ※場所:buffet garden veggie+ センターホテル成田2R51 1階

【8月26日(水)】

時間	行程
8:30	集合 センターホテル成田2R51 前
～ 移動 (40分)～	
9:10～10:30	帝人ソレイユ株式会社安孫子事業所 (帝人グループの特例子会社で蘭の栽培等の視察)
～ 移動 (30分)～	
11:00～13:00	フラット・ヴィレッジ ・視察(レストランや干し芋の加工等)と昼食 ・研修のまとめ・意見交換 閉会式
～ 移動 (20分)～	
13:20	解散 新鎌ヶ谷駅(北総鉄道・京成電鉄・東武鉄道)

■8月25日 集合場所への交通アクセス

・航空機で成田空港ご利用の場合

JR 成田線に乗りして成田駅までお越しください。約12分で到着します

・JR線

東京駅から成田駅までは、横須賀線・総武線直通の「総武快速線」で約 70 分です。

また、上野駅から成田駅までは、常磐線我孫子駅経由で約 80 分です。

・京成線(京成本線・成田スカイアクセス)

京成上野駅から京成成田空港駅までは、「スカイライナー」で約 45 分です。京成成田空港駅と京成成田駅間は、約 10 分です。

・自動車・高速バス

自動車でお越しの場合、東京から成田までは、東関東自動車道路で「富里」IC または「成田」IC をご利用ください。

高速バスをご利用の場合、東京と成田空港間は約 80 分です。

■参加申込締切 **令和8年8月7日(金)**

*締切日前でも定員に達した時点で受付終了となります。

■申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、事務局宛にFAX 又はEmail添付にてお申込みください。

■お支払い

参加申込書受領後に、請求書を送付いたしますので、記載された日までに指定銀行口座に振り込みをお願いいたします。

■宿泊について

宿泊は、各自でご手配ください。京成成田駅周辺が便利です

★推奨宿泊先★

情報交換会の会場となるホテルです。ご厚意により、特別料金でご案内いただきました。特別料金の適用は下記の宿泊申込先に限り適用されます。HP等からの宿泊申込には適用されませんので、ご注意ください。 日本セルフセンター農産部会とお伝えください

センターホテル成田2R51 (1泊朝食付き:8,000円(税込))

<https://www.c-hotel.jp/r51/>

【宿泊申込先】 担当:藤崎茂貴

携帯:080-6696-7943

Mail:fujisaki_shigeki@c-hotel.jp

■お申込後のキャンセル

お申込みいただいた申込書に変更内容がわかるように訂正の上、事務局まで FAX または Eメールにてご連絡ください。

申込締切以降のキャンセルにつきましては、参加費は全額申し上げ、後日研修会資料の発送をもってかえさせていただきますので、予めご了承ください。

締切日前のキャンセルにつきましては、お支払いは不要です。

■個人情報の取り扱いについて

申込書に記載いただいた個人情報については、日本セルフセンター事務局および農産・食品加工部会にて研修会運営に必要な範囲内で使用する他、ご記入いただいた内容を名簿にして参加者に配付いたします。

また研修期間中に撮影した写真は報告書やホームページ等、法人・部会活動に使用する場合がございます。

■お問い合わせ・申込書送付先

特定非営利活動法人日本セルフセンター事務局（担当：桑原）
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-13-1 大橋御苑駅ビル別館 2 階
TEL:03-3355-8877 FAX:03-3355-7666
E-mail:center@selpjapan.net

○ 視察先紹介

【1日目】

①社会福祉法人福祉楽団 栗源協働支援センター、栗源第一薪炭供給所

千葉県香取市の社会福祉法人福祉楽団が運営する「恋する豚研究所」は、独自飼料で育てた自慢のブランド豚を、加工・販売からレストランまで一貫して手がける拠点施設で、就労継続支援 A 型事業所「栗源協働支援センター」が運営の中核を担い、メディアでもたびたび紹介される人気スポットとなっています。1日目の行程では、併設のレストランでの昼食を予定しており、県産野菜とともに自慢の豚肉のしゃぶしゃぶを堪能していただきます。

福祉と「おいしさ」を両立させた事業を体感したうえで、隣接する就労継続支援 B 型事業所「栗源第一薪炭供給所」の里山再生やサツマイモ栽培の取り組みもあわせて学ぶ、充実した視察行程で、絶好の視察先となっています。



②社会福祉法人光明会 明朗塾、ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ

社会福祉法人光明会は、「何があっても見捨てない」を創業精神に、障害のある方々が働くことを通じて誰かの役に立ち、自らが望む人生を実現できる地域共生社会づくりに取り組んでいます。

障害者支援施設明朗塾では、枝豆、さつま芋、落花生、生食用ぶどうなどの農産物の生産に加え、近年は甲州、ピノタージュ、メルロー、シャルドネ等のワイン用ぶどう栽培にも力を入れています。令和7年には約 940 本のワイン用ぶどうを収穫し、自社ブランドワインやジュースの製造(委託醸造)・販売を行うなど、農福連携による高付加価値化と地域ブランドづくりに挑戦しています。また、枝豆の自動洗浄・選別機の導入や、社会福祉連携推進法人の構成法人と連携したドローン活用など、スマート農業による生産性向上と新たな就労機会の創出にも取り組みを進めています。

併設するウエルネス倶楽部・明朗カレッジでは、フィットネスジムや駄菓子屋を運営し、地域住民と障害のある方々が自然に交流できる地域共生の拠点づくりを推進しています。

農福連携を起点に、地域価値の創造と持続可能なまちづくりに挑戦していることが光明会の特徴です。



■2日目研修会会場

①帝人ソレイユ株式会社 我孫子事業所・ポレポレファーム

帝人ソレイユ株式会社は、帝人グループの特例子会社として障がい者雇用を担う企業で、「農福連携」の先進的な実践に取り組んでいます。特に千葉県我孫子市の「ポレポレファーム」では、障がいのある社員が中心となり、オーガニック野菜や胡蝶蘭、エディブルローズ(食用バラ)などの生産・販売を手がけています。農業を通じて一人ひとりが「やりがいと働く楽しさ(Joy at Work)」を実感できる職場づくりを進め、その取り組みは日本農福連携協会の事例集や全国農業新聞でも紹介され、胡蝶蘭の回収・再利用といった環境配慮型のサービスも展開。福祉と農業を結びつけた企業経営の好事例として、視察を通じて多くの学びが得られる事業所となっています。



②社会福祉法人フラット FLAT VILLAGE フラットヴィレッジ

千葉県白井市の社会福祉法人フラットが運営する「フラットヴィレッジ」は、「障がいのある人もない人も、誰もが気兼ねなく集える憩いの場」をコンセプトに2018年に開業したカフェ&レストランです。就労継続支援A型・B型の事業所として、スタッフが調理や接客、畑作業、コーヒーの焙煎、干し芋の加工などを担い、「働く楽しさと誇りを味わう」を支援のポリシーに掲げています。最終日の行程では、店内のレストランでの昼食とともに、干し芋加工などの取り組みを視察。福祉と地域がつながる共生のまちづくりの実践として研修を締めくくるにふさわしい視察先となっています。

